

響和会会報



藝高 Acanthus

2013年秋 第12号

編集・発行 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校 響和会
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
TEL. 050-5525-2406 FAX. 03-5685-7803

第25回 藝高定期演奏会



秋も深まる平成25年10月19日(土)、東京藝術大学奏楽堂におきまして本校定期演奏会が行われました。

第1部邦楽は、宮城道雄作曲 生田流箏曲「春の海」、吉沢檢校作曲「千鳥の曲」、幸堂得知作詞 吉住小三郎/杵屋六四郎作曲「神田祭」の3曲が演奏されました。落ち着いた演奏の中にも生徒たちの気迫が伝わる大熱演でした。

第2部1曲目は恒例の全校生徒参加のオーケストラ付きの合唱曲です。今回はモーツァルトのミサ曲ハ長調「戴冠式ミサ」KV317から全6曲が演奏されました。今年は世界的マエストロ、尾高忠明先生の指揮、阿部純先生の合唱指導でこの大曲に臨みました。しかも芸高合唱団はこの難曲を暗譜で合唱したのです。生徒たちの意欲的な取り組みと完成度の高さに胸が熱くなりました。

最後はベートーヴェンの交響曲第2番二長調作品36です。尾高先生のご指導に応えようと、心をひとつにして、練習してきたすべてをこの演奏で出し切ろうとする芸高オーケストラの糸乱れぬ熱演、その迫力、その美しい音色に時の過ぎるのも忘れて魅了されました。演奏をやりとげた生徒たちの表情は充実感にあふれ、場内は感動の嵐に包まれました。

「響和会」とは…芸高現役生徒の保護者約120名で構成される。昭和29年、芸高創立時に後援会として発足。現在は「芸高後援会」と役割を分担し、学校の教育活動の運営と充実に協力する。全国に存在する会員の親睦を図る一方、図書や寄贈、公開レッスン開催協力等の活動を行う。



先日は尾高先生の素晴らしい指揮のもと演奏会を無事に終えることができとても嬉しいです。共に悩みながらもオーケストラを引っ張ってくれた同級生、支えて下さった先生方に心から感謝しています。ありがとうございました。

山田友里恵

★コンサートミストレス (Vn)



合唱も3度目となり皆を引っ張る立場になりました。不安もたくさんありましたが周りの支えで頑張ることができました。尾高先生の指揮で、このメンバーで演奏できたことは一生の思い出です。ありがとうございました。

中村 翔

★合唱インスペクター (作曲)



世界的にも素晴らしい指揮者である尾高先生の下でコンサートミストレスを務めさせていただいたことは、自分にとって一生の宝物です。演奏会までご指導いただいた先生方、支えて下さった全ての方に心から感謝いたします。

金子真理繪

★コンサートミストレス (Vn)



第25回定期演奏会

思いは一つ～素晴らしい音楽を上げるために



尾高先生の指揮のもと、一生忘れることのない、最高に楽しい定期演奏会を体験することができました。定期演奏会を終えた今、自分は本当に恵まれた環境にいるんだと改めて感じています。皆様本当にありがとうございました。

五味春花

★オーケストラインスペクター (Cb)



生徒、先生方、スタッフの方々。一人一人の努力が1つになり、この演奏会は素晴らしいものになりました。聴きに來てくださった方々も含め、公演に関係した全てのみなさん、本当にありがとうございました！

西澤桐子

★オーケストラインスペクター (Cb)



指揮者の尾高先生から芸高生へ



最初の邦楽、感動しました。日本人で良かったなと凄く思いました。

モーツァルト、皆さんの声は素晴らしかった。こんなに高校生の声が合うとは思いませんでした。

今日のような演奏会は、なかなか経験できません。先生方と一緒に作って來られた、これまでのプロセスはあなた方の一生の宝です。これを絶対に忘れないで育てて欲しいと思います。

(反省会にて)



今回は聴いたことのない人はいないであろう名曲「春の海」でした。この曲を演奏するのはすごい緊張とプレッシャーでした。先生のご指導のもと一生懸命練習をしました。奏楽堂という素晴らしい舞台上で演奏させて頂いたことに本当に感謝しております。

木内麻由★(箏曲)



インスペクターの中村君のもとで、バスのパートリーダーとして活動させてもらいました。暗譜という試みはなかなか大変でしたが、皆で成し遂げることができた良かったです。最高の定期演奏会にできたことに感謝します。

松崎颯太

★バスパートリーダー (作曲)



後輩たちに専門ではない合唱を指導するのは、難しいながらも、大変やりがいのある仕事でした。生徒全員で演奏したモーツァルトの戴冠ミサは一生の思い出です。尾高先生、阿部先生はじめ、多くの方に感謝しています。

片岡健人

★テノールパートリーダー (Pf)

ロビーコンサート



定期演奏会に先立ち、ハープデュオによるロビーコンサートが催されました。曲目は、グラナドス：スペイン舞踊第5番、ドビュッシー：月の光。優美で暖かなハープの音色に包まれ、ロビーは瞬間に心地よい癒しの空間となりました。

★予想以上のお客様の多さに、とても緊張しましたが、皆様にハープの音色を届けることができましたことを嬉しく思います。

(金谷歩実)

★観客の皆さんの温かい拍手により、徐々に緊張もほぐれ、2人で息を合わせて楽しく演奏することができました。(夢賀さくら)



定期演奏会を終えて



最初から最後まで、信じがたいほど素晴らしい演奏でした。尾高忠明先生から頂戴した極上のお言葉を含めて、聴き手にも、演奏した生徒たちにも、後々まで記憶に残るものになることでしょう。そして、毎日一緒に過ごしている仲間たちと、かくも得難い音楽体験を共有できることこそが、芸高の一番の財産なのだと思います。

(校長 塚原康子)



♪2年生演奏修学旅行

季節は秋といえども関東では夏のような暑さの続く中、今年は札幌と函館を訪問しました。霧雨の千歳空港に到着後すぐに、羊ヶ丘展望台にてジンギスカンを堪能し、札幌大谷大学でのリハーサルに臨みました。夜は、カニ食べ放題のお食事に皆「ザ・北海道」を存分に味わったようです。

2日目は朝から札幌大谷大学においてリハーサル、ゲンネラルプロベ、本番と、大変ハードな1日をこなしました。交流演奏会は「北の大地に響け」と称され、北星学園女子高等学校音楽科と札幌大谷高等学校音楽科の生徒さんと共に大変響きの良い「札幌大谷大学大谷記念ホール」において行われました。

3日目、一行は小樽へ。しばし小樽の町並みや運河、歴史的建造物を楽しんだのち一路函館山へ。生憎のお天気で、山頂からは100万ドルの夜景は見られなかったようですが…。

最終日、ようやく恵まれた晴天に、朝市で海産物を物色し、五稜郭タワーに上り、海岸沿いに建ち並ぶ赤煉瓦の土産物屋さんを巡り、沢山の思い出と共に帰路に着きました。



秋の祭典

厳しい残暑が続く中、9月5日、6日の2日間にわたり、秋の祭典が非公開にて開催されました。

1日目の「文化の部」では、クラスごとにミュージカルやショーなどの出し物、有志による歌や演奏が繰り広げられ、会場は手拍子や歓声で大いに盛り上がりました。



2日目の「体育の部」では、バスケットボール、バドミントンなどの5競技に分かれ、東の間音楽を忘れて試合に汗を流しました。学年対抗戦の結果、1年生が見事優勝しました。



クラスの結束もより強まり、またひとつかけがえのない思い出ができた秋の日となりました。

最後の保護者会 ～そして、いよいよ～



定演の前日、恒例の保護者会が行われました。1年からずっとお世話になって来た安富先生から、「大学になるとこのようにクラス単位で活動することももうないので、残りわずかですが、いい思い出を残して欲しいと生徒たちに話しました。クラスとしては、後期になって落ち着いて来て受験モードに入ったなど感じています。みんなのがんばりがみられ、全体としてとてもよくなっています。思い起こせば、秋祭は3年間を通してバラエティに富んだクオリティの高いものを作って、担任としてはうれしかったです。今後、お互いに切磋琢磨して、受験を乗り越えて欲しいと思います。」とのお話がありました。

その後、入試関係の説明を受け、いよいよ受験と親も気が引き締まる思いでした。

北とぴあ 輝く☆未来の星コンサート♪

10月14日(月・祝)、東京都北区の「北とぴあ」さくらホールにおいて芸高と北区立中学校の生徒による「輝く☆未来の星コンサート」が催されました。

このジョイントコンサートは、今年で6回目。第1部は、北区立中学校2校の吹奏楽部による熱気あふれる演奏。ヒット曲メドレーなどでは、芸高生席からノリの良い手拍子の応援が。第2部は、芸高生による演奏。定期演奏会で予定されているプログラムからモーツァルト作曲の戴冠式ミサ ハ長調 KV317より5曲の合唱(指揮:阿部純先生、ピアノ伴奏:3年桑原志織)と、ベートーヴェン作曲 交響曲第2番 二長調 作品36(指揮:尾高忠明先生)を演奏。会場は、大きくあたたかい拍手に包まれていました。

芸高生の演奏を見つめる中学生のまなざしが印象的でした。



ご寄付のお願い

ホームページ上や後援会費値上げの際にも説明して参りましたが、運営費交付金の年毎の削減のあおりを受けまして、芸高の財政事情は、現在極めて厳しい状況にあります。しかも、校舎の老朽化が進み、施設や備品を更新していかなければならないのですが、その出所がありません。このままでは、生徒への影響も無視できません。芸高の教育助成と教育環境の改善のために、何とぞ心温かなご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

3年間のすべてが試される

公開実技試験

6月、芸大演奏堂と芸高201ホールにて、3年間で唯一公開される、公開実技試験が行われました。今まで数々の試練を乗り越えて来た生徒たちですが、この試験は格別で、本当に緊張する試験です。実技指導の先生、担任をはじめとする諸先生方、クラスメイト、後輩、卒業した先輩、そして家族のみんなが一丸となって望みます。プレッシャーを乗り越え試験を無事に終えた生徒たちのすがすがしい笑顔が印象的でした。まさに芸高が1つになったと感じられる試験でした。

来年もまた新たな感動の1ページが開かれると思います。ご期待ください。

平成26(2014)年度 公開実技試験



第1日	6月22日(日)	ピアノ	[演奏堂]
第2日	6月25日(水)	管打楽器 邦楽	[201ホール]
第3日	6月27日(金)	弦楽器 作曲	[演奏堂]

編集後記
「藝高Acanthus」第12号をお届けいたします。発行するにあたり、先生方をはじめご協力いただきました方々へ深く感謝いたします。あつという間に過ぎ去った一年間でしたが、普段の「芸高」の姿を見ることができました。そして、先生方や生徒達の音楽に取り組む姿勢と熱意に感動いたしました。このような貴重な機会をいただきありがとうございます。

会長：大鳥居清彦
副会長：金谷 恵 浦畑佳美
広報委員：木本由美子 藤本寛子 三宅明子 川崎程子 齋藤美奈
高田幸子 棚木美樹 野口恵理子 山田美香